

竹田教育事務所 「地域とともにある学校づくり」のイメージ

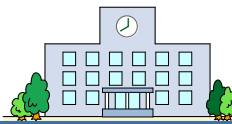
※ 育成を目指す子ども像の共有 ～ 何のためのコミュニティ・スクールか？ ～

- 「学力向上」「安全・安心な学校づくり」など、学校運営協議会の導入の効果は多様
- 「どのような子どもを育てたいのか（育成を目指す子ども像）」を、学校・家庭・地域で熟議
- 「何のために活動しているか」を共有することで、「協働」につながり、有用感（成果）を実感

年間活動計画（例）

年間4回の学校運営協議会開催のケース	
4～5月	1. 教育委員会より委嘱状 2. 学校運営協議会より 3. 学校より 4. 学校評価の4点セット 等
8月	1. 1学期の教育活動・学校関係者評価 2. 今後の計画の確認
12月	1. 授業参観 2. 2学期の教育活動 3. 事業の進捗の確認
2～3月	1. 授業参観 2. 学校関係者評価 3. 次年度の学校経営方針の確認 育成を目指す子ども像共有

【竹田教育事務所管内学校運営協議会の形態】
 [豊後大野市] 中学校区単位 7
 [竹田市] 各学校単位及び小中 15



学校

多くの当事者が「熟慮」と「議論」をかさねながら課題解決を目指す対話

学校運営協議会

地域連携担当教職員

熟議

学校運営や必要な支援に関する協議

- ・ 保護者
- ・ 地域住民
- ・ 行政職員
- ・ 学識経験者
- ・ 「協育」コーディネーター
- ・ 学校の教職員 等



- 〈協議内容〉
- ・ 学校と地域の連携の在り方とは
 - ・ どんな子どもを育てるのか
 - ・ 目標協働達成活動の内容
 - ・ どんな作業部会が必要か
 - ・ 人材確保 等



□ 教育活動の充実

↓
カリキュラムマネジメント

□ 児童生徒の地域の行事等への参加

↓
地域の活性化

地域

目標協働達成活動 (地域学校協働活動)

学校運営協議会の作業部会と「協育」ネットワーク活動の融合

- ・ 学校運営協議会に作業部会を組織する
- ・ PTA組織と兼ねるように工夫する
⇒ 実働組織をつくる必要
- ・ 「協育」コーディネーター（地域学校協働活動推進員）の活用 ⇒ 地域人材の活用
- ・ 「協育」コーディネーター（地域学校協働活動推進員）
⇒ CS・作業部会に加わることが、活動の活性化に重要



【地域ボランティア】

保護者・地域住民・専門家・企業・NPO 等

「協育」ネットワーク (地域学校協働本部)

地域学校協働活動推進員の活用促進 (「協育」コーディネーター等)

地域の子どもの守り育てる仕組みに関する協議

- ・ 「協育」コーディネーター
- ・ PTA関係者
- ・ 自治会関係者
- ・ 行政職員
- ・ 学校の教職員 等



放課後の教育活動

土曜日の教育活動

家庭教育支援活動

家庭

学習習慣や生活習慣を身につける

- ・ 家庭学習の習慣化
- ・ 生活習慣
- ・ 食生活
- ・ スマホ等の扱い
- ・ 電子機器使用 等



□ 日常から子どもの見守り

↓
子どもの安全確保

□ 豊かなコミュニティの構築

